

## 令和2年度大阪府立八尾支援学校 第3回学校運営協議会報告

□日時 令和3年2月24日(水) 午前10時～12時

□場所 大阪府立八尾支援学校 図書室

□学校運営協議会委員会名簿

□出席者

◆ 委員6名(内1名 Web参加)、校長、准校長、事務局7名 計15名

◆ 傍聴者1名(本校 PTA)

□次第と協議内容(要約)

○校長あいさつ

### ○【報告】令和2年度学校教育自己診断

- ・別紙資料あり。
- ・提出率は、保護者、教職員、生徒(高等部)とも昨年度に比べ、上昇した。
- ・63項目のうち46項目で達成基準に達した。
- ・今年度は新型コロナウイルス感染症に対応するため、消毒作業等の新たな業務ができ、教職員の多忙感につながった。また、教育庁からの指示や通知にしたがい動かざるを得ない不安感が教職員に高まった。これらのことが、組織マネジメントに関する項目についての数値下降へ影響したとも考えられる。
- ・新型コロナウイルスの影響で学校での活動が制限されていることも原因となり、生徒(高)の肯定的意見が全体的に下降した。
- ・ICT教育推進に必要な機器の充実に関する項目について、教職員の肯定的意見が低い。令和3年度には新たにタブレット端末が配付され、また、校内37か所に設置した無線LANアクセスポイントも使用可能になる。より積極的にICT教育を推進していく。
- ・令和3年3月中に保護者配布し、学校ホームページに掲載する。

#### <質疑応答・意見・感想等>

Q: いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制に関する項目について、教職員の肯定的意見に比べて、保護者・生徒の肯定的意見は全体的に低い割合を占めている。学校の取り組みや体制についてホームページで公開していることを、いじめアンケート配布時等に、保護者・生徒へより発信していくとよいのではないか。

A: いじめ防止に関する本校の考え方として、学校いじめ防止基本方針をホームページに掲載している。次年度は、いじめアンケート配布時等に、担当分掌と連携しながら、その方針を保護者・生徒へ周知できるように検討したい。また、今年度に関しても、学期に1回また事案(疑いを含む)発生時に、いじめ防止対策委員会を招集し、モニタリングをおこなった。委員会への事案発生の報告体制は整っている。

Q: 児童・生徒の特性に応じた視覚支援の項目について、教職員に比べ、保護者の肯定的意見の割合が下がっている。ユニバーサルデザインを考えつつ、一方で必要最小限の視覚支援で教育環境を整えていくことも大事である。学校として重要視しているからこそ、視覚支援の項目を設けていると推察するが、今回の集計結果をどうみるか。

A：視覚支援の現状に保護者は十分満足していないことを校内で真摯に受け止め、改善したい。

意見①：がんばったことをほめてくれるかという生徒対象の項目について、数値が下がっている。コロナ禍において特に重要な項目であると思われ、ソーシャルディスタンスを保ちながら、どのような支援・指導をしていけるか考えるべきではないか。

## ○【報告】令和2年度学校経営計画の評価

### \*学校経営計画（全校及び小・中）

- ・別紙資料あり。
- ・校内で個別の教育支援計画の統一ができた。
- ・ICT機器を活用したオンライン形式、オンデマンド形式により、専門性や指導技術向上につながる研修を実施できた。また、地域からの相談や研修の要望に応えることができた。
- ・居住地校交流は予定通りに全てを実施できたわけではないが、コロナ禍のこのような状況のなかでも、実施に向けて、前向きに調整できた。
- ・保護者参加は実現しなかったが、職員実動防災訓練を実施し、教職員間で緊急対応体制の確認ができた。また事故やてんかん発作時の対応について、教職員間の情報共有と連携のもと、児童生徒の安全や安心を守る体制のさらなる定着を図ることができた。
- ・時間をかけて校務分掌の見直しができた。会議や業務の効率化を次年度に向けて引き続きおこなう。

### \*学校経営計画（高）

- ・別紙資料あり。
- ・指標に対する成果以外のプラス材料や課題も明記している。
- ・フロンティア生について、自分の気持ちを表現する等の、「キャリア能力に関する評価測定のための指標」が、ひとり2項目以上、昨年度よりランクアップした。
- ・シラバスの運用マニュアルを次年度も引き続き作成する。
- ・ICT機器の貸し出しが増え、利用状況は向上している。
- ・キャリアサポートプログラムを企画し、実施できた。事前注文方式で1月に商品販売をした。商品については、高等部の生徒が1年間かけて作り、中学部の生徒が仕上げ工程の一部や包装を担った。

### <質疑応答・意見・感想等>

Q：専門性の向上に関して、支援教育部ニュース配信の方法等について、より詳しく教えてほしい。

A：支援教育部が作成し、不定期でA4版用紙に印刷して発行している。教職員が読みやすいように、イラストを入れたり文字量に配慮したりしながら、参考書籍の紹介や校内外の研修内容の報告、実際の指導支援方法等について、掲載している。

Q：組織的・系統的なキャリア教育を推進するにあたり、高等部の生徒が中学部や小学部の児童生徒に作業方法の見本を示すといったやり方もあるのではないか。

A：次年度以降は是非そのように進めたい。

Q：安全安心+快適な組織及び学校作りについて、災害だけでなく、感染症を対象に盛り込んでもよいのではないか。

A：新型コロナウイルス感染症への対応を通じて、災害時の緊急対応をシュミレーションすることができた。この経験を災害時に活かしたい。

感想①：高等部課外クラブの参加条件が今年度から広がり、「放課後等ディサービスのお迎えを利用した生徒」も活動できるようになった。PTA のなかで感謝の声がある。

意見①：職業訓練といった何らかの経験を積んで就労をする等、近年、高等部卒業後の進路が多岐にわたっている。卒業後の進路の幅広い選択肢ついて、保護者に引き続き情報を発信するべきである。

意見②：第 1 回学校運営協議会の場で、「教員が放課後等ディサービス事業所に児童生徒の様子を見に行くという支援方法もあるのでは。」と伝えさせてもらった。地域の学校園に在籍する児童生徒が増え、日々の言葉がけや普段の様子等、事業所と学校が負担感なく共有できるような取り組みができたらいい。

意見③：てんかん発作の観察記録について、学校保健委員会や学校運営協議会の場で、校内で使用している書式の報告や検討があってもよいのではないか。

## ○【検討】令和 3 年度学校経営計画(案)

### \*学校経営計画（全校及び小・中）

- ・別紙資料あり。
- ・「年間授業計画(シラバス)」を十分に活用した教育実践を行う。
- ・ICT 機器を先進的に活用した新しい授業スタイルの構築は、知的障がい種別の支援学校において、まだまだ確立していない。教職員の ICT 機器活用スキルを高めていきたい。
- ・キャリア教育を全校展開し、すべての教職員が地域や社会のニーズを教育実践に取り入れる。
- ・八尾アスレチックフィールド(平成 31 年度学校経営推進費)の成果報告に向けて、検証を進める。
- ・災害から日常の緊急対応にいたるまで、PTA・地域・八尾市と連携する。

### \*学校経営計画（高）

- ・別紙資料あり。
  - ・教員自ら授業力向上を重点目標に掲げ、「他学部の授業を見に行きたい。」等の声が上がっている。授業力向上 PT を立ち上げ、具体的取り組みを検討したい。
  - ・「キャリア教育推進 PT」を立ち上げ、組織的・系統的なキャリア教育の方向性を明確にする。ひとつひとつの取り組みについては、ワーキンググループをつくって対応する。
- ・全校及び小・中、高の「めざす学校像と中期目標」について、承認とする。

## ○【委員からの提言等】

Q：専門性の向上や新型コロナウイルス感染症対策等、取り組むべきことはたくさんある。その一方で、安全安心な職場をどのように作っていくかという課題がある。教職員の気持ちをどう受け止め、組織マネジメントをどう行っていくかについて知りたい。

Q：管理職の意図したことをどう伝えてきたか、どう伝えていくかが焦点ではないか。

A：新型コロナウイルス感染症対策等、緊急性があり、学校独自で判断するのではなく、教育庁の指示のもと、府立学校全体で足並みをそろえて行なっていく業務が今年度は多々あった。管理職も教職員も「子どものために」という目的で、ひとつひとつの業務に当たっている。「何のためにしているのか。」をひとつひとつの業務について丁寧に時間をかけて伝え、コミュニケーションを密に取っていききたい。

Q：防災面において地域の学校間で連携を進めていくべきである。今年度はどのような連携ができたのか。

A：今年度は実現できなかったが、次年度の職員実働防災訓練では、地域の関係者や保護者にも参加してもらい、地域と連携していきたい。

A：今夏に校舎のブロック塀を撤去し、フェンスに取り換える予定がある。見通しの良いフェンスによって、地域とのつながりを深めたい。

意見①：保護者間で評判の良い「小学部中学部保護者対象進路学習会」は今後も積極的に実施してほしい。

意見②：今年度とりまとめた校内統一書式の個別の教育支援計画について、八尾支援学校で学んできたことを校内外へ引き継ぐツールとして、十分活用されるようにしてほしい。

意見③：教職員の笑顔が子どもの笑顔につながり、教職員のゆとりが子どもの安全につながるのではないか。

## ○【検討】府教育委員会への提言について(案)

- ・教育委員会に対する意見書「本校のプレハブ棟の建て替え及びプレハブ棟に隣接するトイレ改修工事の要求」は、参加者の賛成多数により承認とする。

## ○准校長あいさつ

## ○閉会